

石島会計メモ



中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル 3階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者 石島慎二郎

2024年2月号

インボイスで疑問になる場面

インボイスと経費

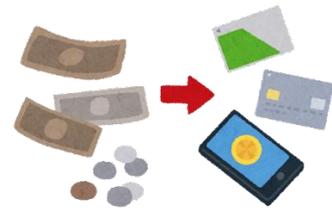
昨年10月1日から、インボイスを保存していないと支払った消費税が控除できない（仕入税額控除ができない）ということになっています。

10%税込み 1,100 円を売り上げて 10%税込み 330 円の仕入支払いをした場合、通常であれば売上時に受け取った消費税 100 円から支払った消費税 30 円を差し引いて（仕入税額控除をして）70 円を納付すればよいところ、仕入 330 円のインボイスがないと、仕入税額 30 円の消費税を差し引くことができず 100 円納付しなければならなくなります。一定期間は一部の控除を認める経過措置はありますが、いずれにしても負担が大きくなってしまいますので、インボイスの保存が大切になってくるわけです。

しかし、インボイス制度では「この場合はどうするのか」という疑問が多く出てくるようになりました。今回は、多くの会社で出てくるのではないかとこの2つの疑問を考えてみたいと思います。

チャージ代はどうなるか？

今ではキャッシュレス決済が盛んであり、特に Suica など交通系 IC カードのチャージによる支払いは一般的になりました。



問題はインボイス制度開始後の処理です。本来的にはチャージ代は経費とならず、使った際に経費となります。ただ、実務上はチャージ時の領収書に利用履歴等を一緒にして経費性を証明するケースも多いかと思います。ところが、これらのチャージの領収書や利用履歴だけではインボイスとして成立しないことが多く、仕入税額控除ができなくなってしまうのです。

そこで役立つのが「公共交通機関特例」や「出張旅費特例」です。会社が直接購入した公共交通機関（飛行機やタクシーは除かれます）の交通費のうち 3 万円未満のものであれば、帳簿に「公共交通機関特例」などと記載して

おけばインボイスの保存がなくても仕入税額控除ができます。また、従業員の交通費を精算する場合でも、通常の範囲（所得税が非課税となる範囲）であれば「出張旅費特例」などと記載し同様に仕入税額控除ができるのです。

おすすめとしては、会社で精算するチャージ代に関しては、**交通費でのみしか使わないという位置づけにしたうえで公共交通機関特例や出張旅費特例を適用**することです。交通費以外の物品等を購入する際はクレジットカードや別のICカードを使うなど、使い分けをすることが事務処理上はもっとも簡便かと思います。もちろん、交通費以外の物品等を購入する際はインボイスを入手し保存するのを忘れないようにしましょう。

クレジットカード利用明細は使えるか？

2つ目は、クレジットカードに関してです。クレジットカードの利用明細の保存だけでは、原則として仕入税額控除をすることはできません。これはインボイス制度以前から変わらないのですが、実務上はクレジットカードの利用明細で経費計上していることがあったかもしれません。

ただし、今後においては税務調査でインボイスの保存状況を確認される可能性があります。あとで明細が取れるからと済ませてしまうのではなく、**クレジットカードで決済した場合もしっかりとレシートや領収書等のインボイスを受け取り、保存しておく**ようにしましょう。



「仕入税額控除できるか」と「経費になるか」は別もの

チャージしたICカードで決済した場合でも、クレジットカードで決済した場合でも、上記対応により基本的に仕入税額控除が受けられます。

ただし、たとえインボイスや特例があるからといって、事業と関係のない経費性がないものを入れてしまうのはダメです。今後、税務調査でインボイスの保存状況の確認と同時に、経費性のチェックをされる可能性があるのではないかと思いますので要注意です。



インボイス制度が始まり、事務処理はさらに煩雑となりました。インボイスがないからといって即すべてが否認されるおそれは大きくないかとは思いますが、後々の憂いにならないようこの機会に問題がないか見直しを行い、インボイスを含む証憑の保存体制を整えておきましょう。

(文章 石島慎二郎)

トラベラーSat o の諸国漫遊記 VOL.15

(文章:佐藤篤司)

皆さん旅していますか～？還暦を迎えたトラベラー！心身のレストアをすべく北東北に行ってきました。普段中々行けない秘湯を求めての4日間！

しっかり癒されてきました。チョイスした温泉の条件は ①家族と一緒に秘湯を堪能できる混浴風呂を有する宿 ②一泊2食付きで1万前後 そして一番のターゲットは ③源泉を独占している一軒宿です。

源泉を独占している一軒宿のため、宿のタオルも全て温泉地名と同じになっています。



一泊目 青森県 酸ヶ湯温泉(すかゆおんせん)

八甲田連峰の標高900mの所に酸ヶ湯温泉があります。開湯300年の歴史ある温泉地で長期間の湯治に訪れる人も多い宿です。白濁色で鉄分の匂いが立ち込めるPH1.89の超酸性泉。10分も入浴していると油脂や角質をだいふ持っていかれます。日本で国民保養温泉地の第1号に選ばれています。広さ160畳で柱が一本もないヒバ千人風呂(実際は100人位かな(笑))は一つの風呂で4つの源泉を有します。

部屋は6畳一間でしたが、夕食にウナギが出るなど想像よりも豪華でした。



二泊目 青森県 不老ふ死温泉

海岸の絶景露天風呂を有する不老ふ死温泉をご紹介します。白神山地の麓にある茶褐色の温泉は殺菌効果が高く傷に効くことで有名です。メタケイ酸や炭酸水素イオンが豊富に含まれるため美肌の湯とも呼ばれています。

日本海に沈む夕日を露天風呂に浸かりながらご覧になることをお勧めします。

美しく幻想的な日没の様子はまさに絶景の一言です。

食事はbuffet形式で名物深浦マグロや久六島(きゅうろくじま)サザエも食べ放題！大満足な宿でした。



三泊目 秋田県 蟹場温泉(かにぼおんせん)

乳頭温泉郷の最奥地にひっそりと佇む深山の隠れ宿です。蟹場温泉は1846年開湯の無色透明の単純硫黄泉と青みがかかった重曹炭酸水素泉の2つの源泉を有し、関節痛、冷え性、消化器病、糖尿病などに効能を発揮します。本館から徒歩50mほど離れた「唐子(からこ)の湯」は林の中ランプの灯りを頼りに入浴します。居合わせた方と楽しく話しているうちにお風呂から出るタイミングを逸して湯あたりしたのもよい思い出です。(´Д`)夕食は秋田の郷土料理、きりたんぼやいわなの一夜干しなどで舌鼓です。



4日目 秋田県 鶴の湯温泉&黒湯温泉

乳頭温泉郷では湯めぐりも楽しめます。トラベラーは車でしたが、風呂桶をルーフに乗せた巡回バスも便利です。鶴の湯温泉本陣は現存する350年前の建物に泊まると人気ですが、電話予約しか受け付けておらず6か月先まで満室ということで断念しました。今回は立ち寄りでのリベンジ入浴です。1638年開湯の歴史ある4種類の源泉を有する乳白色の湯で宿内湯巡りを楽しみました。



贅沢にも一軒宿が源泉湯畑を有する1674年開湯の黒湯温泉。名前の由来は硫化鉄を多く含む為、足裏が黒くなる為とのことです。湯けむりの里と称される風景は昔話の世界にタイムスリップしたのではと錯覚させられてしまう程です。風呂上がりのラムネと黒卵も絶品でした。



4日間で5つの温泉・18回の入浴！！宿の食事以外にも浅虫のホタテ、嶽きみ(トウモロコシ)、鱈ヶ沢のイカ焼き、盛岡の冷麺とじゃじゃ麺など爆食してきましたが、温泉効果で体重は増えません。ダイエットにも良い秘湯の温泉巡り、皆さんも如何でしょうか？ Bon Voyage! マタネ！(°~*)/~

